



THE ROTARY CLUB OF TOKYO-EAST 東京東ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

「よいことのために手を取りあおう」

UNITE FOR GOOD

国際ロータリー

会長 フランチェスコ・アレツツォ

『不易流行』 『伝統と革新』

東京東ロータリークラブ

会長 鳴海 義一

例会日/ 金曜日 12:30~13:30

例会場/ ホテルニューオータニ

〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1

TEL 03-3265-1111

事務局/ 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-1-5 Aビル6F

TEL 03-5637-4601 FAX 03-5637-4611

E-mail info@tokyo-east-rc.jp

URL http://www.tokyo-east-rc.jp

会長: 鳴海 義一

副会長: 西野 耕一郎

幹事: 喜多 英博

副幹事: 北島 隆次

広報委員: 森 寛頼 堀井 恵 小林 千寿 桑鶴 大也

2026年1月16日 第3361回例会報告

VOL.71-22

点 鐘

ロータリーソング 「我等の生業」

ゲスト 1名

ゲストスピーカー

ルナ ピエーナ株式会社

代表取締役 山本 寛人様

国内ビジター 0名

海外ビジター 0名

計 1名

出席報告 会員59名中 出席31名(内ZOOM出席0名)

欠席28名

出席率 59.61%

(出席規定除外 9名中 出席2名)

◎12月19日訂正出席率

62.96% 会員61名 欠席27名(内免除者7名)

会長報告

○鳴海会長よもやま話

明日で31年目を迎える阪神淡路大震災のお話をさせていただきます。1995年1月17日午前5時17分 今迄に経験したことの無い震度7を記録した大震災です。その後、震度7を記録したのは新潟中越、東日本、熊本の3回です。死者6,400名、経常損失10兆円の大災害でありました。私もこの震災が起き、建物の応急危険度判定を兵庫県建築士事務所協会連合会より派遣要請が来て、震災20日後に兵庫県神戸市の兵庫県建築士事務所協会本部へ出向致しました。

私も40才でしたので、フットワーク良く対応出来ました。現場で一番のカルチャーショックを受けたのは、大阪から淀川を過ぎた時点で、建物がさかさまになってひっくり返っていたり、2階より上が折れていたたり、焼け野原になってしまったり、それは目を覆うがごとくの大惨事を見て、身震いして心臓がドキドキしたことを今でも思い出します。宿泊は妹が大阪に嫁いでおりましたので、そこを拠点として西宮・芦屋・御影・三宮・長田、メリケンパークと、他より派遣された担当者と三人一組でグループを組んで徒歩で応急危険度判定を行いました。

応急危険度判定とは、赤紙(危険)、黄色紙(要注意)、緑紙(調査済み)を指定された調査地域の建物調査をして、近隣住民の方々、建物の倒壊、落下の二次災害を防ぐ調査作業でありました。話が長くなりましたのでこの辺で終了させていただきますが、是非神戸においでの際は神戸市の「防災未来センター」にお立ち寄りになっていただければ、防災についての認識がより強くなることと思います。ここで、私達が震災後に各団体と、大同団結して安心安全の街づくりのために立ち上げた墨田区耐震補強推進協議会でのスローガンがあります。地震が来てわかるのは「失った悲しみか?」「守られた喜びですか?」というスローガンです。

幹事報告

○姉妹クラブの那覇東RCが5月22日(金)、札幌南RC

